



発行日 平成28年12月22日



No.10

地域に支えられながら たくさん たくさん 頑張った子どもたち ～この頑張りへの称賛とともに…～

校長 宮 居 伝

「やった！できた！」の声が響いてくることを楽しみにスタートした2学期が終了しました。1年のなかでいちばん長く、また、いろいろな取組が多い2学期、子どもたちの活躍や頑張りが、たくさん見られました。ご家庭でも、お子様の成長を実感された出来事があったのではないのでしょうか。

一方、子どもたちにしても、一日一日の変化や進歩は、はっきりとはわからなくても、2学期に入ったあの暑い時期の自分と、寒さが厳しくなってきた今の自分を比べると、自分の成長を振り返ることができるでしょう。

このような子どもの成長には、日々の学校での学びだけでなく、保護者の皆様の大きな支えがあったことは言うまでもありません。そしてまた、地域の多くの方々に子どもたちの学びを支えていただきました。

ところで、ある国の教えに
聞いたことは忘れる
見たことは思い出す
体験したことは理解する

To hear is to forget,
To see is to remember,
To do is to understand.

というものがあります。

これは、身体で体験して、はじめて本当に自分のものになることを教えてくれるものです。

この2学期、学校でも日々の教育活動のなかで、体験や本物に触れることを大切に指導にあたってきました。机上の学びだけでなく「実際に行って見て触れること」で、また、直に体験談などを聞くなかで、学びを深められたことと思います。

そして何より、このような学習を進めるにあたっては「芝生応援隊やスクールガードのみなさまなどに、学習環境の整備や登下校の安全確保に向けた地域での取組を進めていただいていること」「毎朝の継続したPTA挨拶運動とともにマラソン大会の交通立哨など、保護者ボランティアの方々にもご協力をいただいていること」を忘れてはならないとも思っています。ほんとうにありがとうございます。

最後に、以前、「躰の絵本」(ヒューマンウェア研究所)という一冊の絵本をいただいたなかの清水英雄さんの一節を紹介します。清水さんは『躰』という漢字ほど素晴らしい日本語はありません。まさに身が美しい。礼儀作法、立居振舞、所作行儀。これらは『三つ子の魂百まで』と『鉄は熱いうちに鍛えよ』。生まれたら、即とりかからねばならぬことです。残念ながら、家庭でも、学校でも、職場でも、躰についてうるさく言われなくなりました。…」と書かれていました。

この2学期、たくさんたくさん頑張った子どもたち。この頑張りへの称賛とともに、社会へ出るまでに身に付けておかねばならないことにもまた、きちんとした声かけを、学校・家庭・地域でしていくことが、子育て・教育への責任でもあると考えています。

年末・年始を迎えるこの時期は、このような学びの絶好の機会でもあるように思います。社会に出て行く子どもたちのために。

明日から冬休みに入り、子どもたちが地域でお世話になります。地域の宝である子どもたちを、地域で支えながら育てていただけますよう、子どもたちへの声かけや目配り、引き続きのご支援をよろしくお願いいたしますとともに、どうぞよいお年をお迎えください。



芝生応援隊のみなさまに感謝



児童昇降口でのPTA挨拶運動